勿来第一中学校　進路だより　第６号

「１５の春」

令和２年　６月１２日（金）
発行者：進路指導主事　宮内雅弘

＜ここまでの学校生活はどうですか？＞

学校が通常日程で再開されて２週間が経ちますが、生徒の皆さんは、ここまでの学校生活で**「生活行動目標５箇条」**を守れているでしょうか？もちろんできている人たちもたくさんいますが、ここで中間反省です。４月の時の２週間の生活と６月のこの２週間の生活とを比べて振り返り、今後の生活に役立ててください。

１．「自学・スマイルライフ・スタプロ」といった日々の提出物を「完璧に」提出できていますか？

→本通信第２号でも書きましたが、日常生活の中における**生活ルーティン形成**にもつながることであり、特に進路関係の書類は「提出すべきものは、期日までに余裕をもって提出」が当たり前です。皆さんは提出すればそれで終わりですが、**その後には、提出物をチェックし、集計し、報告するという作業段階**があります。**提出したその後には取りまとめの作業日程があること**を念頭に置いて提出物を提出してください。

２．挨拶・返事はいつでもしっかりと「相手に伝わるように」できていますか？

→「挨拶・返事をした」と言っても、**相手に聞こえない、伝わらない挨拶・返事は意味がありません**。また、状況によって声を出せない場面では会釈をするなどといった **TPO に応じた行動選択も必要です**。もちろん、**「挨拶や返事をしない人」は問題外**ですが～もちろん事情があってできない場合（かぜなどで声そのものが出ないとか）は別～、挨拶・返事から始まる***【自分の意思を相手にしっかりと伝える力（自己表現力＝アウトプット能力）】***は社会では「面接」「職場内でのコミュニケーションをとる」などの場面で常に求められるスキルであり、これこそが***今の勿来一中生に一番つけてほしい力であると、私は思います***。**日常生活の中での挨拶、返事、授業中の挙手発言、対話活動（今の生活様式では注意が必要）などが、練習実践の場**です。

３．オンタイム行動（その時間にはその行動が始まっている）が「周りの人たちと」一緒にできていますか？

→**７：５５からの朝の読書**、移動教室を含めた**始業前の２分前着席、４校時終了後１０分後には食べ始められる給食準備、清掃前後の移動整列、清掃終了５分後の帰りの放送開始時の着席**、これらの活動をその時間には余裕を持って開始できて（取り組めて）いますか？**体験入学や入試は時間や場所、持ち物などが高校側から指定され、それを守れるかどうかを見られます**。そういう状況に直面する前に、**日頃から「チャイムに頼らず自ら時間を意識して行動する習慣」**をつけてください。また、その時間にその活動を始めるためには、**時間を逆算し余裕をもって行動**しないと間に合いませんよ。

４．欠席、遅刻、早退の日数はどうですか？

→昨年よりも努力をしている人も見受けられます。ぜひ、今後も続けていってほしいです。ただ、**「ギリギリの時間で行動」する人**はまだいます。過去をふり返ってみると、**普段の生活でギリギリ行動をしている人は大事な場面（修学旅行や入試当日の集合時間など）で遅れる人とほぼイコールである**という状況です。遠足などの行事で時折聞かれる「５分前行動」は、次の活動に余裕を持って取り組むための準備をする心がけを表した言葉です（「オンタイム行動」とつながる発想です）。予定よりも早く行動することに「損」なことはありません。話を戻しますが、「心身ともに健康な人」を高校側は求めていますので、欠席日数や遅刻日数などが多い人は「この人は体調管理ができる人なのか？」と思われてしまうことがあるので要注意。

５．今の自分の服装・頭髪・身だしなみは「入試に耐えうる」ものですか？

→**「他の人より目立つ身だしなみ」は集団生活（進路）においては NG** です。**学校生活における服装頭髪のきまりは「入試に臨める」が大原則**。日頃から**「入試に耐えうる」**服装頭髪で生活していれば、その**格好に合った「引き締まった顔つき」**にもなっていくものです。

これらはどれも「将来社会に出て求められる」項目です。入試の時だけに限った話でないことをお忘れなく！